

2月 教育厚生委員会

- 地域包括ケア体制整備事業について
- 発達障害児(者)集団療育事業費について
- 高校生就職活動サポート事業費について

2月 教育厚生委員会

- キャリア教育の推進について
- 病弱な生徒の高等部教育について
- 子育て支援について



6月 農政産業観光委員会

- やまなし産業支援機構について
- 国際交流センターについて
- 生活保護受給者の自立支援について

12月 教育厚生委員会

- 災害時要援護者支援台帳整備事業について



◀平成25年1月7日（平成25年1月8日付公明新聞より）
 笹子トンネル事故で太田国交相に横内知事から要望

太田昭宏国土交通相は7日、国交省内で山梨県の横内知事の訪問を受け、天井板落下事故が発生した中央自動車道・笹子トンネルの復旧について要望を受けた。公明党の安本美紀県議が同席した。横内知事は、同トンネル事故後の迂回の交通分散対策を太田国交相が中日本高速道路に指示したことで、中央道富士吉田線（大月インターチェンジ-河口湖インターチェンジ）が無料となったことに謝意を表明。一方で事故によって県内の観光業などに悪影響が出ていることを指摘し、同トンネルの早期全面復旧を強く求めた。太田国交相は、担当者に至急対応するよう指示を出すなどトンネルの早期復旧に向けて取り組む決意を示した。



▲平成25年4月30日 新山梨環状道路東部区間整備促進要望
 ▼平成25年5月27日 中部横断自動車道整備促進要望



▲平成25年5月20日 2014年度予算に関する要望
 ▼平成25年8月5日 新山梨環状道路整備促進要望



山梨県議会議員

安本よしのり

県議会だより



県議会会派 公明党

Vol.9

2013年10月発行
発行所：安本よしのり
甲府市羽黒町1159-3

TEL/FAX 055-252-0890
E-mail: yasumotoyo-vic@fuga.ocn.ne.jp



ごあいさつ

日頃より真心からのご支援を賜り、心から御礼申し上げます。
 「安本よしのり県議会だより」第9号をお届けさせていただきます。今号では平成24年2月並びに9月県議会の質問内容を中心にご報告させていただいております。主に東日本大震災の教訓を活かすための防災・減災対策や、対応迫られる社会資本の老朽化対策、そして子ども達の安全対策について質問しました。今後とも、皆様からのお声を県政に反映できるよう、全力で働いて参ります。御指導のほど宜しくお願い申し上げます。

平成25年秋

山梨県議会議員 安本よしのり

平成24年2月定例県議会前文から

恩師より「あれになろう、これになろうと焦るより、富士のように黙って自分を動かさないものに作り上げろ」、吉川英治著「宮本武蔵」の一節を通して、青年時代から薫陶をいただきました。制定後初の「富士山の日」を祝いながら富士の勇姿を仰ぎ改めて感謝の思いで一杯になりました。政治は、厳しい対立で身動きが取れず、討議を重ねて合意を求めていくことが出来なくなっています。チャーチルの「民主主義は最悪の政治形態と言うことができる。これまでに試みられてきた民主主義以外のあらゆる政治形態を除けばだが」という言葉に深く考えさせられます。震災復興元年との今年、復興が必要なのは政治も政治家もと自戒を込めて思います。

安本よしのり オフィシャルサイト

ホームページは → <http://www4.ocn.ne.jp/~yasumoto/>
 ブログは → <http://yasumoto.mo-blog.jp/blog/>

ご相談は TEL/FAX 055-252-0890
 お気軽に... 〒400-0071 甲府市羽黒町1159-3
 E-mail: yasumotoyo-vic@fuga.ocn.ne.jp



● 次の項目について質問しました。

1 防災対策について

- (1) 女性の視点からの防災対策について
- (2) 福祉避難所の整備促進について
- (3) 学校における防災・非避難マニュアルの見直しについて

2 文化芸術の振興について

3 がん教育の推進について

- 4 発達障がい等、文字を認識することが困難である児童生徒のためのデジタル教材の活用促進について
- 5 ネット犯罪からの子どもを守る対策について

● 主な質疑・答弁の内容



福祉避難所の整備促進について

要援護者等にとって重要な福祉避難所の整備促進を図るための取り組みは、

答 福祉避難所として指定された施設の中から、県内の四圏域に一カ所づつ大規模な避難生活のための拠点スペースを整備していく。特別支援学校も実情に応じて要援護者を含めた避難者を幅広く受け入れる。また、福祉避難所としての使用についても前向きに検討する。



学校における防災・避難マニュアルの見直しについて

緊急地震速報の導入や子供の命を守る大切な防災・避難マニュアルの見直しは、また、見直したマニュアルに対する専門家の検証作業も必要では、

答 緊急地震速報は、県立学校への計画的な導入について検討する。全県立学校では全て、公立小中学校では95%を超える学校が防災マニュアルの見直しを行った。学校防災アドバイザー事業なども活用し検証作業を進める。

文化芸術の振興について

国民文化祭を契機に本県らしい文化芸術の振興への取り組みが必要では、また、県民の参画促進、触れる機会の充実、活動継承、担い手育成確保など一層の振興を図るための条例を制定してはどうか。

答 国民文化祭後も引き継ぎ定着させていくために、それぞれの団体の自主性を尊重しながら効果的な支援を行っていく。条例制定は意義や有効性などを今後検討する。



がん教育の推進について

県がん対策推進条例に定めるがん教育の推進について教育委員会の考えは、

答 新たに作成されるがん予防に関する学習用リーフレットを活用し、本県のがんの現状などの学習に取り組むとともに、がん教育の先進事例を各学校に情報提供する。また、学校保健委員会やPTAの学習などで、がんをテーマとした研修会を開催する。

※下記の県議会ホームページにて会議録（質疑の全文）がご覧頂けます。

<http://kaigiroku.pref.yamanashi.jp/>

● 次の項目について質問しました。

1 防災・減災対策について

- (1) 老朽化する社会資本の整備について
- (2) 土砂災害防止対策(避難勧告発令基準の策定状況含)について
- (3) 電線類の地中化について
- (4) 学校施設における非構造部材の耐震化について
- (5) 県防災会議への女性委員の登用について

2 学校におけるがん教育の推進について

3 通学路の交通安全対策について

● 主な質疑・答弁の内容



老朽化する社会資本の整備について

老朽化する社会資本の維持補修や更新への取り組みは、

答 施設の損傷が深刻化する前に早い段階で軽微な補修を小まめに行う予防保全型管理として、必要性の高いものから施設ごとに、長寿命化計画を策定し老朽化対策を進めている。

電線類の地中化について

災害時に電柱が倒れたり、電線類が切れたり、垂れ下がることによる二次災害がある。減災の観点から電線類地中化を一層進めるべきでは、

答 都市災害の防止、安全で快適な道路空間の確保、景観の向上などを目的に電線類の地中化を進めている。今後も市街地における円滑な救助活動や復旧支援活動などにも考慮しながら、電線類の地中化を積極的に推進する。

県防災会議への女性委員の登用について

女性が災害時に力を発揮できるように、また女性の視点からの意見が防災・減災対策に反映されるように、県防災会議への女性委員の登用を行うべきでは、

答 年末までに県防災会議条例の所要の改正を行った上で、新たな委員の任命を行いたい。その際には、女性・高齢者・障害者など、地域における生活者の多様な視点が十分反映できるような人選を検討することとしており、女性委員も複数名登用したい。

通学路の交通安全対策について

危険箇所の緊急合同点検が実施されたが、教育委員会では安全対策をどのように進めるのか。また、現場レベルで道路管理者、警察、教職員、保護者等関係者が一堂に協議する場が重要と考えるがどうか。

答 点検の結果、691カ所の対策が必要。市町村教育委員会では道路環境の改善や交通指導、通学路変更など具体的な対策メニューを作成する。県教育委員会では対策メニューが着実に実行されるよう、県土整備部及び県警察本部との連絡会議を通じて情報の共有化を図り、進捗状況の確認を行うなど必要な指導・助言を行う。

